

令和5年度「地域発 元気づくり支援金」事業実施結果一覧表（佐久地域）

番号	事業名	申請者	事業内容	事業費 (円)	うち支援金額 (円)		講評
1	佐久平地域まるごとキャンパス事業	佐久市	佐久平全体を「キャンパス」と捉えて、NPO、市民活動団体、事業所などが提案する学生向けプログラムに、高校生、大学生等が参画し、地域の人たちと一緒に考え、自ら行動する場を提供し、地域協働を推進するとともに、本取組により若者の愛着心を醸成し、将来、地元への定住や就業を促進する。	1,599,807	1,279,000		佐久地域の生徒や学生が市民活動団体・NPO等が提供する活動プログラムに参画することで、地域事情の理解や人脈の増加により、地元への愛着心やUターン意向の向上につながった。 協賛企業の確保により補助金終了後も事業を継続している。
2	町民から移住希望者まで皆で立科町の未来を考える空き家改修プロジェクト	立科町	利用していない町有の教員住宅2棟で町民や移住希望者、近隣地域の学生を巻き込み空き家DIYワークショップを行うことで、立科町の人口減少や空き家問題を考え解決するきっかけとする。また、空き家活用事例の収集・周知や、空き家相談会を実施し、空き家の利活用を促進する。	3,292,300	2,618,000		ワークショップにより空き家対策の学習機会を町民や移住希望者に提供することができた。 今後は、実際に空き家が活用される件数を増やすための取組が期待される。
3	御影用水の観光、教育、啓発推進事業	御影用水・陣屋応援隊	廃棄物による水路閉塞等周辺環境の悪化、用水組合員の減少などにより用水の適正な維持管理が困難になってきている。用水使いの体験イベントや用水の歴史等についてのオンライン講習会の開催、電子教材の発行、啓発パンフレット等の配布などを通じ、御影用水・千ヶ滝湯川用水の快適な維持及び観光、教育、災害防止を図る。	1,038,960	811,000		講習会の開催やパンフレット等の教材制作・活用により、御影用水の地域での啓発や観光促進を図った。 今後は制作した教材の積極的な活用による更なる啓発活動が期待される。
4	ココロオドルSAKU(地域交流事業)	公益社団法人佐久青年会議所	佐久地域の魅力を発信する1日商店街を開催し、各種団体や個人によるブース出展を行い、移住者と地元住民が交流できる場を設けることにより、垣根を超えた佐久地域住民の協働の促進を図る。	2,051,500	1,561,000		イベントに多くの参加者を集め、地元住民・事業者と移住者を繋ぐ機会を創出した。 今後も地域でかかわる関係者を増やしながら事業を継続していくことが期待される。
5	かるいざわ ざわざわ2023～創造と想像がまちとひとを彩り対話が生まれる～	かるいざわ ざわざわ2023	まちづくりの主体として住民参画の促進を図るにあたり、「芸術」を媒介として住民のまちづくり参画の場を創出する。町内各所を会場とした芸術祭を開催し、住民が主体となり、実行委員長や参加者、鑑賞者も自分事として創るプロセスを共にし、軽井沢町への愛着やアクションを起こさせる。	7,071,200	4,928,000		芸術をテーマにしたイベントに町民が能動的に参加することを通じて、住民コミュニティの活性化を図った。 今後は更なる参加者増に向けた工夫を行いながらの事業継続が期待される。
6	東信州中山道の魅力をデジタル発信と街道をめぐるサイクリング事業	東信州中山道連絡協議会	東信州中山道の魅力を発信するデジタルマップの作成とデジタルマップを活用したサイクリングのモニターツアーを実施し、当該地域への誘客につなげていく。	4,525,400	3,580,000		デジタルマップの作成や、E-bikeによるモニターツアーにより新たな観光ツール創出を図った。 今後はデジタルマップの充実等により、観光資源としての認知度向上が期待される。
7	上手な医療のかり方普及啓発事業	佐久広域連合	令和6年4月から施行する医師の働き方改革に向け、医療サービスを受ける側が適切な受診行動を行う必要があるため、佐久地域の住民に対し啓発を行い、持続可能な地域医療の実現を目指す。	2,432,180	1,945,000		医療従事者や地域住民と連携してハンドブックを作成し、佐久地域全戸に配布した。 今後は作成したハンドブックを活用した住民への意識啓発活動の実施が期待される。
8	介護予防住民指導者育成事業	介護予防住民指導者育成支援協議会	住民主体による「通いの場」を提供・運営する住民指導士を養成し、「地域包括ケアシステム」の構築を目指すとともに、介護予防指導者を養成している各市町村の住民指導者団体との交流会を開催し、介護予防事業を担う住民運動を長野県から発信する。	1,040,009	832,000		住民指導士の養成、フォローアップにより地域で活動する人材及び活動機会の増加につながった。 今後は、更に幅広い地域での展開が期待される。
9	軽井沢町の観光資源を利用した住民参加型「インターバル速歩」実施のためのご当地スマホアプリの開発	国立大学法人信州大学	インターバル速歩は、体力の向上や生活習慣病の改善等の効果がある。インターバル速歩の普及のため、体験会の実施、令和4年度に製作したアプリにおけるチェックポイント追加、推奨コースの追加と地図作成、アプリにインターバル速歩の「速歩」地図の表示機能開発などを実施する。	4,903,820	3,923,000		アプリのアップデートを行いインターバル速歩の普及を図った。 利用のインセンティブは同種のアプリと比較して課題があり、今後、関係者ととも工夫していくことが期待される。
10	筋トレ及びストレッチで健康寿命延伸事業	ちょこっとストレッチ教室	高齢者の居場所づくりやフレイル対策・健康づくりを目的に、高齢者を対象に運動教室を週3～4日開催する。	2,828,465	1,118,000		通年で運動教室に多くの参加者を集め、住民に対して運動機会を提供することにより、フレイル対策・健康づくりに貢献した。 参加料を中心に一定の収入も確保しており、今後は経済的に自立に向けた取組を期される。
11	2023佐久っとサイクル推進プロジェクト	佐久地域自転車活用推進協議会	自転車を活用した健康づくりを推進することで、佐久地域が取り組む「健康長寿」への活動を更に促進するとともに、域内観光を促進させ「関係人口づくり」にも寄与し、住民による魅力発信を促し観光振興につなげていく。	3,525,500	2,503,000		モニターサイクリング等で知見を得ることができたが、その発信まで至らなかった。 今後は普及啓発活動による広がりが期待される。
12	「つくろう！「舞台芸術の日」」子ども実行委員会事業	佐久地域「舞台芸術の日」運営委員会	人形浄瑠璃文楽座による文楽公演・ワークショップを開催するとともに、子どもが主役となるよう「子ども実行委員会」を組織することにより、子どもとともに本物の芸術公演に触れる機会を創出する。	1,678,503	1,207,000		企画・運営段階から子どもも参加する舞台芸術公演に多くの来場者を集め、佐久地域の子どもの舞台芸術に触れる機会を創出した。 今後も同様の取組を通して主体的にかかわる子どもが増えることが期待される。

番号	事業名	申請者	事業内容	事業費(円)	講評	
					うち支援金額(円)	
13	ミヨタデザイン部のデザインワーク	ミヨタデザイン部	移住者も多い中で、住民をつなげる地元コンテンツ・アクティビティが少ない。また、移住者が町の魅力に出会う機会が少ない。そこで、地元住民/移住者・事業者・地域活動団体の3者をデザインの方でつなげ、町のコンテンツ作りとその魅力発信につなげる。そのため、地元コンテンツの発信、ワークショップの開催、「ミヨタデザインウィーク」の開催等を行う。	6,050,540	4,552,000	イベントやワークショップの実施により、増加する移住者に対して地域との接点づくりや既存住民の魅力認識につながった。今後は、地域内外の関係者を増やしながら、活動機会を増やしていくことが期待される。
14	佐久市地域防災マップ作成支援事業	佐久市	行政と地域の協働によって地域の特性や過去の経験に基づく「地域防災マップ」を作成することにより、地域独自の防災体制の構築を推進する。	5,445,000	4,356,000	地域住民が参加して地区毎に独自の防災マップを作成し、マップ配布や講習会の実施により地域の防災意識の向上を図った。今後は他地区への展開や、既存マップの効果的な更新体制の構築が期待される。
15	佐久市の小学生へ「防災ハンドブック」配布事業	佐久市建設業協会	令和元年東日本台風を教訓に、子どもの時から災害に備え、その被害を最小限に抑えられるよう、「佐久市防災ハンドブック」を作成し、小学生へ配布する。また、配布にあわせて出前授業を実施する。	2,420,000	1,936,000	ハンドブックを制作し、市内学校に配布したほか、冊子を活用した出前授業を実施して防災意識の向上を図った。今後は制作したガイドブックの活用機会の増加のための施策が期待される。
16	生物多様性保全活動検証事業	佐久市	野生鳥獣の食害等による森林生態系の変化により国土保全機能への低下が深刻化していることから、生物多様性を保全するため、専門家会議を設置し、調査・実験を行うとともに、住民意識の向上を図る。	2,671,341	2,137,000	シカの食害による土壌流出等の問題を引き起こす生物多様性の低下の問題に対し、専門家による調査等を実施して現状を把握した。今後は調査結果に基づいた実効的な対策の実施が期待される。
17	高峰植生調査—高山植物の保全とブランド化に向けて—	NPO法人浅間山麓国際自然学校	高峰高原は高山植物の種類が豊富であり、毎年多くの観光客が訪れる。高峰高原周辺の登山道・ゲレンデの植生調査、調査の結果を発表する場としての植物見学ツアーの開催、花のパンフレットの作成により、高山植物の保全に役立てるとともに、高山植物の名所としてのブランド化や観光客のさらなる増加を目指す。	932,710	746,000	植生調査を行い、それを基に観察ツアーの実施や花に関するパンフレットを作成し、「花の高峰」をPRしていくための下地作りを図った。今後は、調査やパンフレットを基にした啓発活動の実施による認知度向上が期待される。
18	小さな村のSDGs事業	常和区	荒廃した山林や農地の整備や地域のエネルギー資源の有効活用、地域資源を活用した交流イベントを開催することにより、身近な地域からSDGs社会の実現や持続可能な地域づくりを推進する。	487,124	345,000	地域住民が共同で木質バイオマスの利活用(薪づくり)や耕作放棄地の整備に取り組み、地域でのSDGs社会の推進を図った。今後は、整備した交流拠点を中心に継続的な活動を期待したい。
19	有機堆肥で環境に優しい農作物作り	山の中がガーデン小径	有機野菜作りの体験、オーガニック給食のワークショップ、講演会などを開催することにより、環境再生型農業の実践につなげ、カーボンニュートラルを推進する。	429,823	343,000	環境負荷が少ない有機堆肥の作り方、有機堆肥で育てた農作物によるレシピコンテスト等を行い、有機堆肥の普及・啓発を図った。コンテスト受賞作は佐久市の学校給食として提供された。今後は小学校等と連携しながら、有機農業に係る知識と体験を得られる機会を更に増やすことが期待される。
20	大日向小学校 断熱DIYワークショップ事業	学校法人茂来学園 大日向小学校	大日向小中学校入学のため町内に移住した家族も増えている中で、寒い地域で快適かつ経済的に暮らす方法について学びたいというニーズがあり、校舎の一部である保健室の環境改善を図ることで学ぶ機会とする。学校保護者に限らずワークショップ形式で地域に向けて実施することで、脱炭素への取り組みを幅広く訴求していく。	1,198,600	375,000	学校保健室において断熱DIYワークショップを実施し、学校環境の快適化と地域住民への断熱性への理解を図った。今後は、地域内各建物での推進が期待される。
21	コミュニティ・パワー まちづくりプロジェクト2	軽井沢 ハルニレ・グリーン・クラブ	脱炭素社会に向けた社会の動きが世界中で急激に加速する中、住民一人一人の環境意識の向上が必要となっている。子ども向け環境情報紙(エコチル)内の記事広告枠を購入し、ゼロ・カーボンの特集記事を掲載するほか、松本山雅FCとの「ゼロカーボン・マッチ実現企画」の開催、環境に優しい電力への転換促進を行う。	5,698,000	4,558,000	環境情報誌「エコチル」への記事を掲載したほか、松本山雅FCのホームゲームでのイベントにより県民の環境意識向上を図った。今後は、小学校等の地域コミュニティでの環境活動の推進が期待される。
22	子どもも大人も一緒に考える「食品ロス」	ナカマノコエ	日本の食品ロスは世界トップクラスに多いが、食品ロスについてオープンに話したり消費者と事業者がともに考える継続的な機会がない。食品ロスに関する倫理的問題、処分等に係る二酸化炭素や税金の問題もあり、課題解決が必要。そこで、食品ロス実態の調査、食品ロス削減の啓発活動を行う。	542,557	373,000	1人1日あたりのゴミの排出量が最も多い軽井沢町において、YouTube等のSNS発信やイベントを通じてフードロス削減を図った。今後は、町内における関係者の増加による活動の活発化を期待したい。
23	白樺林の保全を目的としたソーシャルビジネスの基盤構築事業～白樺を核とした地域ブランドの普及促進に向けて～	信州白樺クラフト製作所	白樺高原の白樺林保全に向けた循環サイクルの構築及び白樺を核とした地域ブランドの普及促進を図るため、白樺林整備事業、白樺樹皮細工のための講習会、東信地域の学校等への白樺の普及啓発活動などを実施する。	1,074,125	853,000	白樺林の整備及び製品開発講習会により、白樺林保全に向けた循環サイクルの構築を図った。また、イベントの開催や学校等での啓発事業を通じた関係人口の増加を図った。今後は、地域の関係者により自走して取組を継続していくことが期待される。
24	飯綱山公園プロジェクト“Inspire the Park”	飯綱山公園活性化事業実行委員会	飯綱山公園のソフト面での活性化を図るため、市、地元住民、商工団体、観光団体が協働し、年間を通じて様々な公園内デコレーションの実施やイベントを開催し、特色のある観光地域づくりを進める。また、装飾作業やイベント開催時に、小諸市が連携協定を締結している明治学院大学の学生、市内小中学生などが参加することで、市内内外への波及効果や、地域への愛着の醸成も目指す。	8,673,980	5,000,000	夏祭り、イルミネーション点灯等各種イベントの開催で来場者増を図った。今後は、地域住民や関係者が更に主体的に関わって公園の魅力向上を図る取組が期待される。
25	「渋沢栄一と第二のふるさと佐久」市民参加による地域観光振興の推進	佐久商工会議所	渋沢栄一と佐久との関わりについて、講演会、体験イベント、見学ツアー、学習授業等を実施することにより、市民理解を深め、観光振興につなげる。	2,635,999	1,890,000	講演会やイベント、モニターツアーにより渋沢栄一に関する市民の理解を深めた。今後は、観光客増加につながる具体的な取組の構築が期待される。

番号	事業名	申請者	事業内容	事業費(円)	講評	
					うち支援金額(円)	
26	小海線沿線スタンプラリー	小海線沿線地域活性化協議会	小海線の駅などをめぐるスタンプラリーを実施することにより、小海線とともに沿線地域の風土に触れる機会を創出し、さらなる沿線地域の誘客につなげていく。	1,597,750	1,278,000	スタンプラリーにより小海線の利用促進と沿線スポットの誘客増加を図った。今後は、更なる沿線スポットへの誘引等、発展的な取組が期待される。
27	令和5年度「小諸ワイン」50周年記念事業～これからの『小諸ワイン』ブランド化に向けて～	小諸市	小諸産のワインが地域に溶け込んでいないという課題解決のため、小諸産ワインを地域住民に身近に感じてもらえる仕組みづくりが必要である。50周年の節目を迎え、「KOMORO WINE DAYS」「市民向けワイン講座」「小諸産ワイン&農産物プロモーションイベント」を開催し、小諸ワインの市民への周知やブランド化の醸成を図る。	4,576,000	3,660,000	小諸ワイン50周年を期に、地域でのブランドの浸透を目的に、イベントや小学生向けの講習会を実施した。今後は、引き続き地域住民へのブランド浸透の取組が期待される。
28	水田フナ生産拡大支援事業	佐久市	佐久市の食文化である小鮒を継承するため、小鮒の勉強会・食育事業、養殖技術研修会を実施し、後継者の育成と生産性の向上を図る。	185,693	146,000	技術指導や勉強会等を実施し、後継者養成や生産性向上を図った。一方で予定していたマニュアル作成に至らなかった。今後も関係者と協力して後継者確保の取組が期待される。
29	放置竹林問題を楽しく解決し、佐久広域の森と農の振興を目指す	millplot	放置竹林により、地滑りや火災などの災害リスクや、地域の景観を損なうなどの問題が顕在化している。竹林整備を推進するとともに、農業や森に親しんでもらうため、放置竹林を活用した竹パウダー、竹炭の製造体験イベントや、森から採取した植物を使った蒸留のワークショップ等を実施する。竹パウダーについては、肥料として普及啓発を行う。	802,080	617,000	ワークショップ等を実施し、地域住民に対して竹の活用促進を図った。今後も、地域への啓発活動を継続的に実施し、放置竹林の解消につなげていくことが期待される。
30	第2回 軽井沢青年会議所ふれあい市	一般社団法人軽井沢青年会議所	移住者に地域を知ってもらうきっかけづくりとふれあいの場の創出、地域経済の活性化を目的に、地域のお店が集まる祭典「ふれあい市」を開催する。	612,696	428,000	イベントを開催して移住者が地域を知る機会の提供を図った。今後も移住者が地域に溶け込むための取組が期待される。
31	小海町ゼロカーボン・ワーケーション基盤整備事業	小海町	令和4年度に設置したゼロカーボン・ワーケーション推進協議会において施策を検討し、実証実験を地域住民及び関係人口となりうる企業を対象に行うことにより、小海町の再生エネルギーについて地域住民と関係人口の理解を深めることを目指す。	4,500,000	3,600,000	ワーケーションの推進にあたりゼロカーボンの視点を掛け合わせ、それぞれの取組の相乗効果の発揮を目的に、関係者との協議や環境をテーマにしたワーケーションツアーの実証実験を行った。今後は、協議会への協力会社の数を増やし、資金的に自走していく取組が期待される。
32	女神湖畔の新シェアオフィスを拠点とした地域体験プログラム創出事業	立科町	女神湖畔エリアにおいて、自然の中で働き、暮らすように滞在する中長期滞在者の満足度を高めるために、新シェアオフィスを拠点とした地域体験プログラムを創出する。	2,216,000	1,772,000	ワーケーションや企業の合宿・研修に取り入れられる地域独自の体験プログラムを企画・実証した。今後は更なる企画の充実による訪問者増加への取組が期待される。
33	山国の風景と農を楽しむ俳句観光おこしプロジェクト	俳句の里づくり実行委員会	俳句のイベントや田園風景の保全に関わる人の高齢化が課題となっている今、俳句観光に向けたアイデアワークショップ、俳句イベント等の実施、俳句観光にかかわるPRパンフレット・サイトの作成をすることにより、「俳句観光」を実現し、俳句文化を継承発展し、地域活性化につなげる。	1,310,064	1,048,000	地域でのワークショップやモニターツアーの実施を経て、パンフレットを作成した。今後は、作成したパンフレットが有効活用され、観光客増加につながる取組が期待される。
34	「快適健康都市SAKU」にて出会えるビジネスを求めて～SAKUメッセ2023～	一般社団法人佐久産業支援センター	佐久市の強みである「健康長寿・医療福祉」と「尖った技術」を結び付け、佐久市を「快適健康都市」としてブランディングし、域外へPRするため、ビジネスマッチングの場などを提供するSAKUメッセを開催する。	18,900,723	5,000,000	SAKUメッセの開催により、マッチングの機会創出や地元の子どもへの地域企業認知向上を図った。今後は出展・参加料企業へのフォローアップを行い、ビジネスマッチングの増加に向けた取組が期待される。
35	佐久酒造協会13歳とご当地グルメが共同開発する新たな地域の食文化発信事業	信州佐久安養寺ら～めん会	地元のラーメン店が地酒、酒かすなどを使った「酒蔵コラボラーメン」を作り、新しい食文化を作ることで、地域への交流人口を増やし、地域経済の活性化を図る。	1,585,100	1,268,000	酒造とコラボレーションしたラーメンを開発し、加えてスタンプラリーを開催することで、佐久地域の観光資源となるご当地グルメ化を図った。今後は、開発したラーメンの認知度向上の取組が期待される。
36	大麦の栽培・精麦と麦みその加工	塩野中山間地営農事業組合受託部会	遊休農地解消事業の一環として、大麦の播種から精麦を行い麦みそを商品化し、味噌の品種拡大を目指し、町内で地産地消や地域内循環を企画することにより、農業の振興を図る。	2,266,000	1,699,000	精麦機と商品保存用の冷蔵庫を購入し、大麦の栽培、麦みその加工・販売の新たな6次産業化の体制を構築し、遊休耕作地の解消を図った。今後も、継続的な取組により遊休耕作地の解消面積の拡大が期待される。
37	バルーンアカデミープロジェクト	佐久熱気球クラブ	過去30年の活動のノウハウや技術等をまとめた熱気球のガイドブック等を作成するとともに、中学生や市民等を対象にした熱気球教室を開催することにより、「バルーンのまち佐久」をより一層推進し、観光政策に寄与する。	3,342,100	2,560,000	3種類のガイドブック等の冊子の制作・配布を通して、市民への気球の普及啓発や、関係者への技術継承を図った。今後はガイドブックの活用による更なる普及啓発活動が期待される。
38	地域資源を活用した地元佐久で挙げる挙式	佐久プライダグ協議会	ウェディング関連の事業者が連携し、地域資源を生かした佐久でしか挙げる事ができない魅力的な「佐久ウェディング」を実施することにより、地元での挙式につなげ、移住・定住を促進するとともに、地域内の経済循環を図る。	2,127,125	1,701,000	佐久市内神社での結婚式を実施し、その様子をSNSで発信することで、市内での結婚式のPRを図った。今後は、PR活動の継続的な実施により、結婚式数増加が期待される。